

全医労保育所ニュース

直営化をめざして三者でがんばろう

第 72 回定期大会で 18 方針確立

第 72 回全医労定期大会が 7 月 12 日～14 日、越後湯沢にて開催され、運動方針を確立しました。院内保育所からも多くの参加があり、支部、保育所両方から保育所の運動についての発言が相次ぎました。

「先行園、不利益被っている。今回直営が 1 園もなく、委託された。直営めざすたたかひが必要」「新受託業者は、労基法を無視した業者、組合の交渉で改善を求めている」「選んではいけないと施設に言っていた業者になったが団体交渉もでき、やっと一歩前進。三者（保育所職員、保護者、組合）の連携で頑張っていこう」「最初の説明と変わる。後出しじゃんけん。おかしいことは口に出して行こう」「三者の連携、なかなかできていないが、これから作っていきたい」などの発言がありました。

大会以降も、受託業者への要求書提出、団体交渉申し入れが進んでいます。全医労は 11 月に「保育所アンケート」を実施し、2 月に「統一要求書」を作成し提出していきます。各園、支部でとりくみましょう。契約金や委託内容などの契約状況を明らかにさせ、調査結果を集約後、本部、支部で契約の問題点、受託業者の問題点等を追及し、問題ある業者の撤退、直営化を求めていきます。

- 各支部で契約金や委託内容などの契約状況を明らかにさせよう
- 11 月「保育所要求アンケート」をすべての保育所で取り組もう
- 2 月、受託業者に対し「統一要求書」を提出し、団体交渉を進めよう



全国大会で発言する枝野さん(宇都宮なかよし保育園)

後方右は山元さん(浜田おおぞら保育園)

仲間が増え 過半数組織に

近畿地方協の A 保育所では、この間の全医労と受託業者との団体交渉で、年休が前倒しで付与されたこと、賞与を勝ち取ったことなどを「組合があったからだ」と喜び、未加入者に声をかけたところ、2 人の仲間が増え、過半数組織となりました。

安全・安心の保育を、そして何より子どもたちの笑顔を守るために、仲間を増やし、働く私たちの賃金・労働条件をより良いものにしていきましょう。

6月16～17日 第45回医療研 in 長野 「院内保育所」分科会に20人参加

保育の学習・交流機会を増やしてほしい！との保育士たちからの声で、9年振りに復活した「院内保育所」分科会。保育士・組合専従・パパさんなど20名が参加し、午前中はレポート5本の発表を中心に行ない、午後はレポート発表でもっとききたいこと、各職場で困っていることや流行っている手遊びを楽しく交流。同じ院内保育所でも悩みは別々でしたが、今回の分科会テーマ「私たちが大切にしたい保育～院内保育所のあり方」をじっくり語り合うことができました。（医労連 Mail News No.7 より）

「私たちの院内保育所を守り続けよう」 全医労もレポートを提出し発表しました



「休憩で各保育所の手遊びが披露され、和やかな分科会に」 第45回医療研 in 長野の分科会にて

8月4～6日 第50回保育合研 in 大阪

第50回保育合研が8月4～6日に大阪市内で開催され、3日間で46都道府県から9339人が参加。「それぞれの持ち場で子どもたちの『最善の利益』を図る実践をしていこう」と集会宣言を採択し、閉会しました。

全医労も「院内・職場保育所の運営と運動」の分科会に参加。大阪医セン支部なかよし保育園の中島さん、近畿地方協書記の川本さんがレポート発表を行いました。「院内保育所を守る取り組み」として、全国の院内保育所の状況と大阪医療センターなかよし保育園の取り組みと課題を報告し、引き続き保育の充実、職員の賃金・労働条件改善を求めて運動を進める決意を述べました。